【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

北朝鮮の核実験について

平成２９年９月６日（９：３０現在）
官　　邸　　対　　策　　室
※日時は、特段の注記のない限り日本時間

１．事案の概要

９月３日１２時３１分頃、気象庁が北朝鮮付近を震源とする、自然地震ではない通常の波形とは異なる可能性のある地震波を検知。これを含む諸情報を総合的に勘案した結果、政府としては、北朝鮮が核実験を実施したものと判断。

２．地震波分析の概要（気象庁）

平成２９年９月３日１２時３１分頃、気象庁が、北朝鮮付近を震源とする地震波を検知

（１）地震を検知した時刻
　　平成２９年９月３日１２時３１分頃

（２）地震の発生時刻・震源・規模等
　ア　時刻：１２時２９分５７秒　（地震記録から推計した地震の発生時刻）
　イ　震源：北緯４１．３度、東経　１２９．１度
　ウ　深さ：０km
　エ　規模：マグニチュード　６．１

３．政府の主な対応

【９月３日】
１２：３８　総理指示
　　○　関係省庁においては、緊張感を持って情報収集・分析に努めること。
　　○　国民に対して的確な情報提供を行うこと。
　　○　米国、韓国、中国及びロシアを始めとする関係諸国と連携を図ること。
１２：５５　事実関係を公表（内閣官房）
１３：０８　緊急参集チーム協議開始
１３：０９　総理会見（ぶら下がり）
１３：１０　事実関係を公表（気象庁）
１３：１４　官房長官会見
１３：３４頃　国家安全保障会議（四大臣会合）
１３：５１　総理指示（二回目）

○　北朝鮮の今後の動向等に関し、情報収集・分析の徹底を期すこと
○　核実験に伴う放射性物質の影響を把握するため、関係各国と連携しモニタリング態勢を強化すること
○　不測の事態にも備えるなど、国民の安全・安心の確保に万全を期すこと

１４：１５　気象庁会見
１４：４５　官房長官会見（内閣総理大臣声明発表）
１７：０２頃　国家安全保障会議（四大臣会合）（二回目）
１７：５３　官房長官会見
１８：０８　総理会見（ぶら下がり）
２３：５１　総理会見（ぶら下がり）

４．外交上の主な対応

【９月３日】
北京の「大使館」ルートを通じて、北朝鮮に対して厳重に抗議し、最も強い表現で断固として非難。
１４時過ぎ谷内国家安全保障局長とマクマスター米国家安全保障担当大統領補佐官との電話会談
１６：２３　金杉アジア大洋州局長と金烘均（キム･ホンギュン）韓国外交部朝鮮半島平和交渉本部長との意見交換（電話）
１７：４０　河野外務大臣とハガティ駐日米国大使の会談
１８：００　河野外務大臣と康京和（カン・ギョンファ）韓国外交部長官との電話会談
１８：２８　金杉アジア大洋州局長と金烘均（キム･ホンギュン）韓国外交部朝鮮半島平和交渉本部長との意見交換（電話）
１８：３０　河野外務大臣とモゲリーニＥＵ外務・安全保障政策上級代表との電話会談
２３：００頃　日米首脳電話会談
２３：２８　日露首脳電話会談
日米韓英仏共同で，安保理議長国（エチオピア）に対して国連安保理緊急会合の開催を要請。

【９月４日】
９：１５　日米外相電話会談
９：４０　河野外務大臣と安保理の在京非常任理事国大使等との会談
１０：３５　河野外務大臣と駐日ロシア大使との会談
１１：００　日韓首脳電話会談
１３：３０　河野外務大臣と駐日英国大使との会談
２３：００　国連安保理緊急会合の開催

【９月５日】
１６：２０　日英防衛相電話会談

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

１８：３５　日仏外相電話会談
１８：５０　日伊外相電話会談

【９月６日】
０７：００　日米防衛相電話会談
０７：００　日米韓防衛当局局長級情報共有テレビ会議

５．モニタリングの強化

【９月３日】
１３：５２　放射能対策連絡会議議長指示を発出
〇　航空自衛隊機による高空の大気浮遊じん等の採取・測定
〇　都道府県等における地上の大気浮遊じん等や降下物の採取・測定、空間放射線量率の測定
１３：５６以降　三沢等の各基地で集じんのためＴ－４が飛行
注）上記測定結果等については、原子力規制庁が取りまとめ、内閣官房が公表
９月３日（日）～５日（火）の間、各種測定結果において、異常な値は検出されず。